

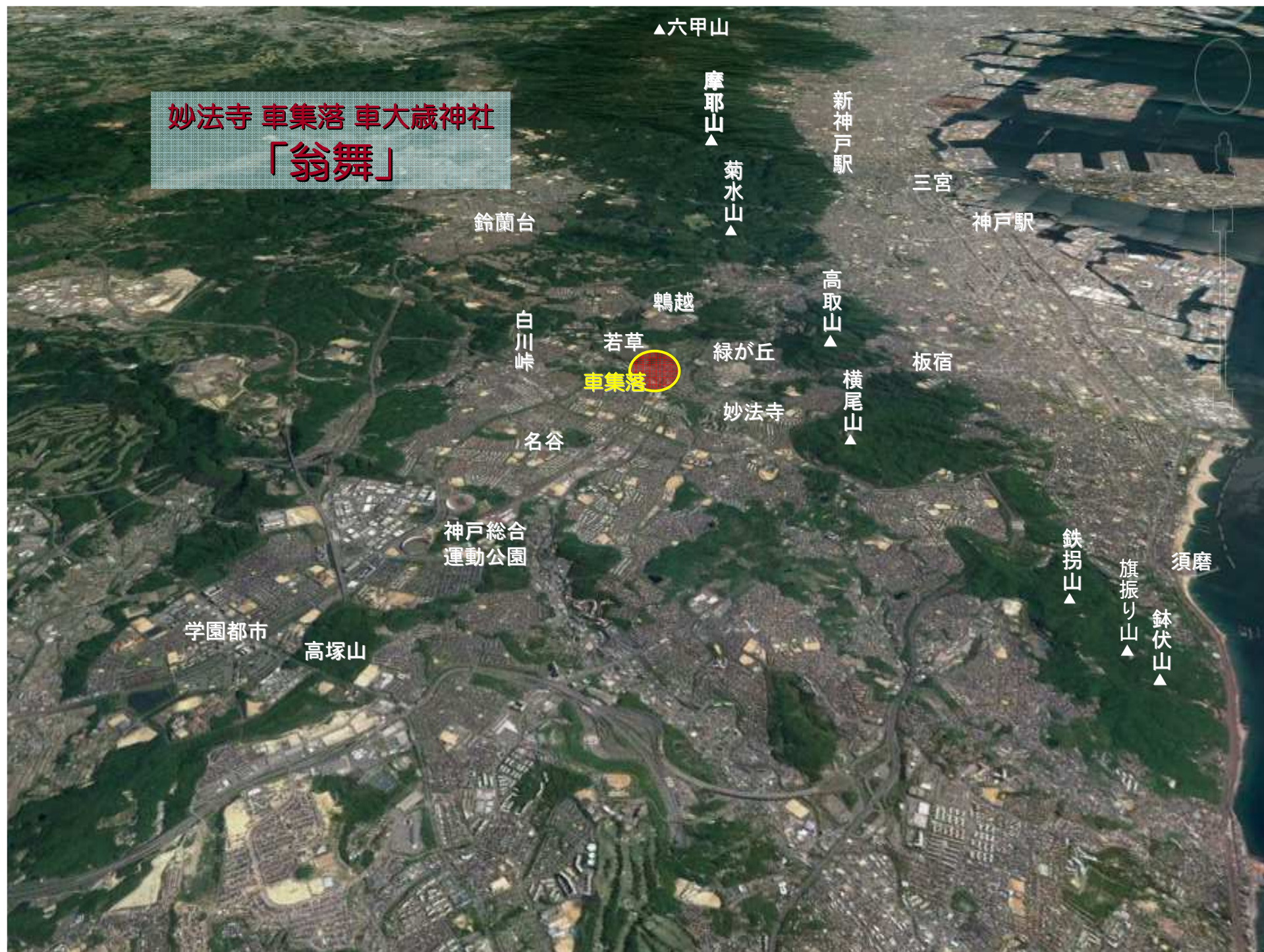
妙法寺 車の里 車大歳神社の翁の舞

2017.1.14.夜

前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る新春の伝統行事



妙法寺 車集落 車大歳神社
「翁舞」



車大歳神社 2017年1月14日 翁舞



稚児 露払の舞



翁の舞



三番叟（揉ノ段）



三番叟（鈴ノ段）



父尉の舞

翁舞では、最初に露払の舞がある。
ついで太夫が面箱を開き、御神体の白尉面を着けて舞う。
そして、三番叟が一度立って舞った後、黒尉面を着け、鈴を受け取って再び舞う。
最後に、太夫が父尉（ちちのじょう）の面に着け換えて、舞を見せる。

父尉の舞がある翁舞は、上鴨川住吉神社の神事舞にも見られるが、
古い翁舞の形式を残したもので 大変珍しい。平成12年、国指定重要無形民俗文化財に指定された。

妙法寺 車の里 車大歳神社の翁の舞 2017.1.14.夜 アウトライン

毎日周辺の里を歩く中で、walk を兼ねて 周辺の新春行事にも出かけているのですが、久しぶりに私の住む住宅地に隣接する車の里 新春の伝統行事 車大歳神社の「翁の舞」にも行ってみようと。寒い夕刻 家内と二人ででかけました。まだ、雪はふっていないかつたのですが、途中で大雪の展開に。 帰るときはどこも銀世界でした。前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る車の里の鎮守大歳神社に伝わる民俗芸能の「翁舞」。

毎年 1月14日の夜に車の里の人たちによって上演される。

車大歳神社の「翁の舞」には、現在の能楽の一般的な「翁」には登場しない「父の尉」を含むもので、かつての「翁」の様子をうかがわせるものとして、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

神戸市西端の須磨区の白川峠への谷筋の上部に古くからある車の集落。

周辺は急速に市街地化が進んでいるが、元禄年間の記録によると戸数五〇ほどの小集落で、その当時から大歳神社は地区の鎮守であった。

また、一般には「翁」は神聖視される特別な能の演目で、現在は舞台披きや特別な公演のときに上演されるのですが、中世後期から近世初頭の頃には、神事芸能として「翁」を各神社の祭礼で専門演技者が演じるようになっていたとされる。

宝暦14年（1764）の記録によって、車大歳神社の翁舞もそのころまで専門演技者が演じていたことがわかる。また、文久2年（1862）とされる台本が残っていることから、このころには地元の人びとが翁舞を演じるようになり、江戸時代中期から昭和20年（1945年）まで継続していたことが判っている。

露払い、翁、三番叟、父の尉の四部で構成される古い形を残す車大歳神社の「翁舞」。

室町時代に成立したという多くの能の翁（式三番）が、千歳（露払い）・翁・三番叟（揉ノ段、鈴ノ段）という三部構成であるのに対し、父の尉を省略しない古い形態を伝えている。

露払いを10歳ほどの少年が、三番叟を12歳ほどの少年が、翁と父尉を同じ人がそれぞれ役者として立ち回ります。他にも、地謡が4人、笛が2人、小鼓が2人、大鼓が1人おり翁舞を演じる。

また、舞に用いられる面は、神体として本殿に祀られている物で、翁・黒式尉・父尉の三種がある。

本番当日、宿（頭家）に神体が迎えられ、宿で稽古上げが行われる。

その後宮入りをを行い、舞台（拝殿）において翁舞が行われる。



午後7時からの開始 大歳神社の境内にはたき火がたかれ、集落の人による甘酒・お神酒の接待。 寒い夜で嬉しい。 2017.1.14. 車大歳神社で



車大歳神社本殿



車大歳神社舞殿(拝殿)



翁の舞を待つ車大歳神社の境内





翁の舞が演じられる大歳神社の舞殿 2017.1.14.

舞殿の北側御神燈が見えるのが本殿。翁の舞は本殿に向いて舞われるので、境内の奥の本殿側にまわるのが良いと教えてもらった。



「神面」三面を入れた箱を先頭に翁の舞の演者たちの宮入 2017.1.14.午後7時



翁の舞の演者たちの宮入 2017.1.14.午後7時





舞殿に座った翁の舞演者たちのお祓い 2017.1.14.



神酒をいただいた後、神面の取り出し、笛と小鼓によって約1時間の翁舞が始まる。 2017.1.14.

まず笛二管と小鼓三丁の演奏が始まって、
翁大夫の「とうとうたらり（濁ってたかも?）」の謡。
何度も何度も「よーほん、はいーいや」という掛け声が響く。



翁の舞「稚児の露払い」登場

「鳴るは滝の水」と露払い（千歳）の男の子の舞が始まる。
体全体を右に、左に向ける所作、
後は扇を前に出して拝殿をぐるりと回って拍子を踏む。





翁の舞「稚児の露払い」登場

「鳴るは滝の水」と露払いの男の子(千歳)の舞が始まる。

体全体を右に、左に向ける所作、扇を前に出して拝殿をぐるりと回って拍子を踏む。

翁大夫が 白式尉の面をつけて舞う「翁の舞」

翁大夫が白式尉の面をつけて舞う。

面をかけた後、肘を上げるようにして、少し腕を曲げた構えで舞い始める。



翁大夫が白式尉の面をつけて舞う「翁の舞」



翁大夫が白式尉の面をつけて舞う「翁の舞」

肘を上げるようにして、少し腕を曲げた構えで舞い始める。

最後は「千秋萬歳の。祝ひの舞なれば、一舞、舞はう萬歳楽」と・・・
翁大夫と地謡の祝言「萬歳楽」の掛け合いがひたすら続く。



三番叟の揉之段 & 鈴之段

翁が舞い終わると次は三番叟の揉之段。

小鼓方のひとりが大鼓に持ち変え、張扇で打ち始め、稚児の男の子(千歳)が舞いはじめる。

小鼓を打っていた時とは打って変わって、気合の入った掛け声が響く。

続いて鈴之段。三番叟が黒色尉の面をつけ、鈴を持って舞う。



三番叟の鈴之段

三番叟が黒色尉の面をつけ、鈴を持って舞う。





三番叟の鈴之段



三番叟の鈴之段

三番叟の鈴之段



翁大夫が今度は父尉の面をかけて「父尉の舞」



翁大夫が今度は父尉の面をかけて「父尉の舞」





「父尉の舞」が終わり、大歳神社2017年新春の「翁舞」の終了
ふと気が付くと真っ暗な中 雪が深々と降っていました 2017.20時



午後8時過ぎに「翁舞」すべてが終了し、本殿に神面を戻す



午後8時過ぎに「翁舞」すべてが終了し、本殿に神面を戻して、
2017年新春 車大歳神社「翁舞」が終わりました



外は大雪 2017.1.14夜 車大歳神社「翁舞」



外は大雪 2017.1.14.夜 車大歳神社「翁舞」

妙法寺 車の里 車大歳神社の翁の舞

2017.1.14.夜

前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る新春の伝統行事





2017.1.14.夜 雪の車大歳神社「翁舞」



すぐ小降りになりましたが、帰り路 踏み跡をつけながら 2017.1.14.夜



寒波襲来 2017.1.14夜